

製品カーボンフットプリント(CFP)算定の 基本と実践(演習付き)

◆日時: 2025年11月06日(木) 13:00~17:00

◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: (株)電通総研 コンサルティング本部 プロジェクトデザイン部 マネージャー 吉田 正樹 氏
(株)電通総研 コンサルティング本部 ソーシャルイノベーション部 シニアコンサルタント 山田 侑汰 氏

カーボンニュートラルは今や世界の共通課題となり、製品カーボンフットプリント(CFP)の少ない商品、すなわち低炭素商品が企業の競争力になりつつあります。CFPとは、製品の原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガス排出量のことです。昨今は欧州電池規則、デジタルプロダクトパスポート、炭素国境調整措置(CBAM)など、特にEUを中心に規制強化が進んでおり、CFPに関する社会要請はますます強まっています。

本講座では、まずCFPに関わる社会動向を概説し、CFP算定・削減の必要性や、利活用シーンを学びます。そして、実務においてCFP算定に取り組めるように、演習を通じて、算定方法を学びます。最後に、CFP削減の考え方・手法、CFPに関連する規制(欧州電池規則、CBAM)の概要について学びます。

1. 製品カーボンフットプリント算定・削減の意義と目的

1.1 製品カーボンフットプリントとは

1.2 製品カーボンフットプリントに関わる社会動向

1.3 製品カーボンフットプリントの利活用シーン

2. 製品カーボンフットプリント算定方法

2.1 企業レベルの温室効果ガス排出量算定

2.2 製品カーボンフットプリントの算定方法

2.3 製品カーボンフットプリントの算定例

2.4 製品カーボンフットプリント算定のポイント

3. 製品カーボンフットプリント算定の演習

3.1 原材料調達

3.2 生産

3.3 流通・販売

3.4 使用・維持管理

3.5 廃棄・リサイクル

4. 製品カーボンフットプリント削減の考え方

4.1 製品カーボンフットプリント削減の基本的な考え方

4.2 製品カーボンフットプリント削減メカニズムの見える化

4.3 製品カーボンフットプリント削減アイデアの発想法

4.4 一般的な製品カーボンフットプリント低減手段

5. CFPに関する規制等の動向

5.1 欧州電池規則の概要

5.2 CBAM(炭素国境調整措置)の概要

6. まとめ

『カーボンフットプリント【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール☐ 郵送

● Webセミナーの受講申込みにについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>